

新町小学校だより

～かしこく ころろゆたかに

たくましく 生きる新町の子～

第19号（最終号）

令和3年3月24日

津市立新町小学校

Tel 059-228-5125

当たり前ではない毎日を大切に…



3月18日（木）、まるで卒業の日を祝うかのような、穏やかで暖かい日差しの中、無事に「令和2年度卒業証書授与式」を行うことができました。卒業証書を手にした卒業生全員の優しく力強い想いが最後の呼びかけと歌声に込められた素晴らしい卒業式だったと思います。

卒業生にとっては、小学校生活最後の大切な年にもかかわらず、大変辛くて苦しい1年間でした。でも、この6年生は、いつも前を向いていました。「コロナ禍だから仕方がない」ではなく「コロナ禍でも楽しもう」と思ってくれました。延期して行った秋の運動会では、堂々とした演技を披露してくれました。行き先が県内になった修学旅行でも「楽しかった！」「先生、いろいろ考えてくれてありがとう！」と言ってくれました。教室では、明るい笑い声が響き、友だちを思う優しい声に満ちていました。こんな子どもたちの姿に、私たち教職員は心から救われた思いです。

それは、1～5年生の子どもたちも同じです。毎日のマスクと手洗いを欠かせない日が続き、友だちと常に距離を置いての日常生活、黙ったままで食べる静かな給食…でも子どもたちは、その現実を受け入れ、その中での楽しみや喜びを学校生活の中で見つけてくれました。

テストで百点を取ったことや音楽の時間に皆で歌ったこと、休み時間の友だちとの会話や遊び、遠足や社会見学での体験、大好物のメニューが出る日の給食。今まで当たり前になっていた毎日が当たり前ではないことを感じてからは、一日一日を大切に過ごしているようにも見えました。来年度もしばらくは、同じような日々が続くかもしれません。でも、この経験から学んだこともきっと大きいはずです。ひと回り心も身体も成長した子どもたちに、再び4月に会うことを楽しみにしています。

保護者の皆様には、一年間、本校の教育にご理解とご協力、ご支援をいただきましたことに心から感謝しています。来年度もよろしくお願い致します。

